

平成26年1月

平成25年 10月 ~ 12月期 実績  
平成26年 1月 ~ 3月期 見通し

# 中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

主要景況項目の動き	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移 * 平成15年1月以降	23
[集計資料]	

## D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

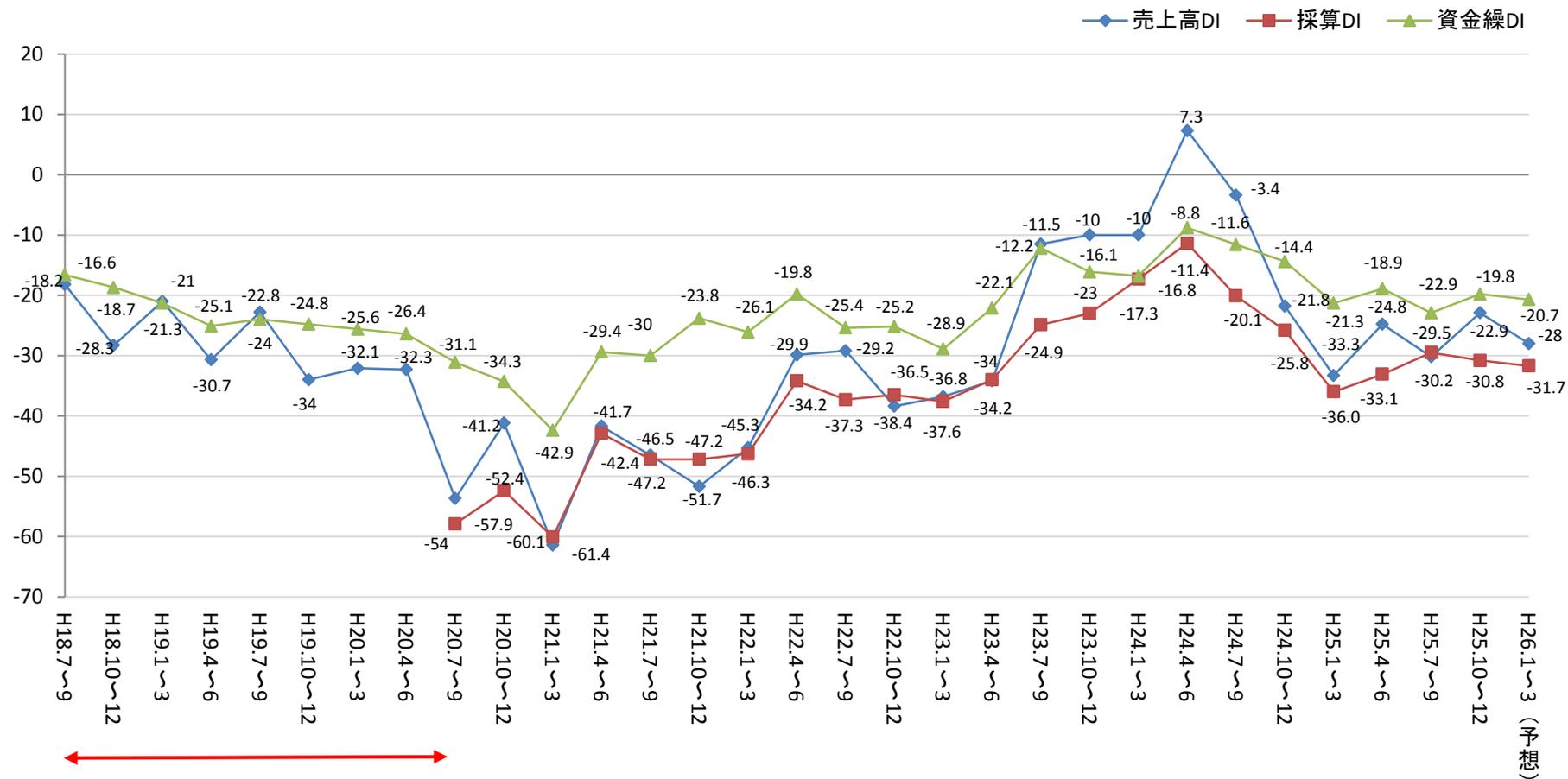
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

[ 岩手県 産業全体 ]

### 主要景況項目の動き ー前年同期比ー



採算DIについては全国連にデータなし

# 業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成24年				平成25年				(見通し) 平成26年
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
製 造 業	 薄曇	 曇	 曇	 雨	 雨	 雨	 曇	 薄曇	 曇
建 設 業	 晴	 晴	 薄曇	 晴	 薄曇	 薄曇	 晴	 晴	 晴
小 売 業	 雨	 薄曇	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨	 雨
サ ー ビ ス 業	 曇	 晴	 曇	 曇	 曇	 曇	 曇	 雨	 雨

売上高DI	100.0 ~30.1	30.0 ~10.1	10.0 ~△10.0	△10.1 ~△30.0	△30.1 ~△100.0
表 示	 快晴	 晴	 薄曇	 曇	 雨

# 全産業の推移

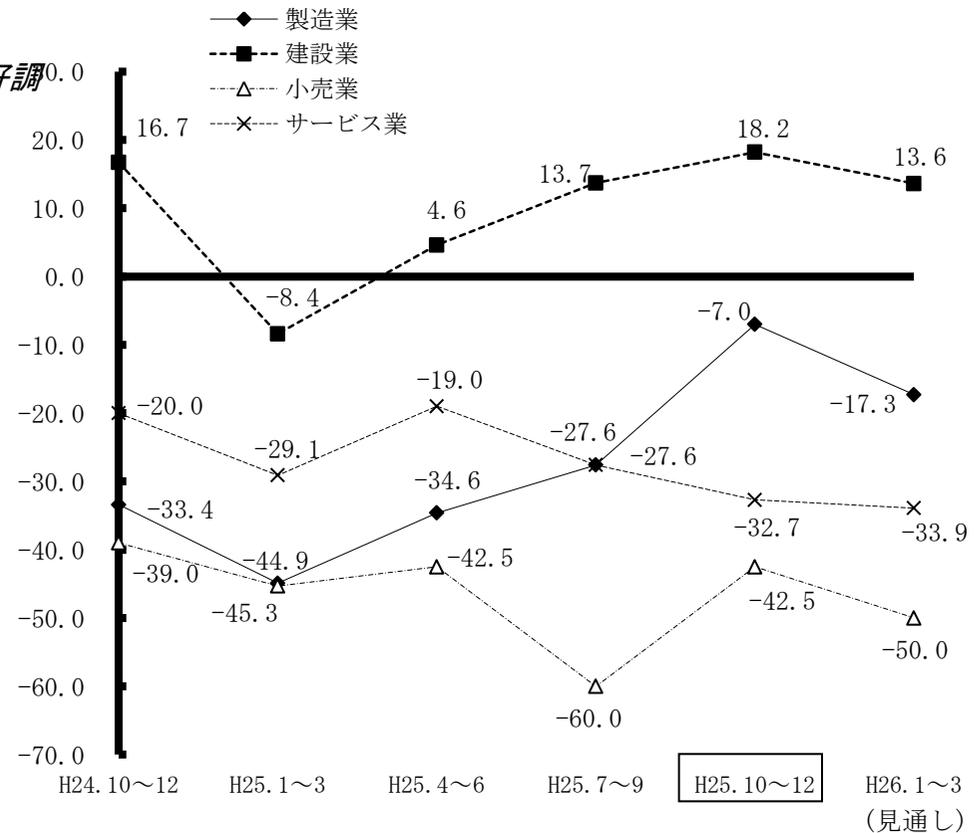
## 売上高

製造業・小売業では大幅に回復、建設業は依然好調

今期は、製造業において、20.6ポイント上昇の△7.0に、前期過去最低を記録した小売業では、17.5ポイント上昇の△42.5となり、大幅に回復した他、建設業においては、4.5ポイント上昇の18.2と好調を維持しました。

一方、サービス業においては、販売不振に歯止めがかからず、5.1ポイント減少の△32.7と更に悪化しました。

来期は、製造業において、△17.3まで大きく減少すると予想されるほか、そのほかの業種においても、低下傾向で推移すると見込まれます。



※建設業の売上高は完成工事高

# 全産業の推移

## 採算

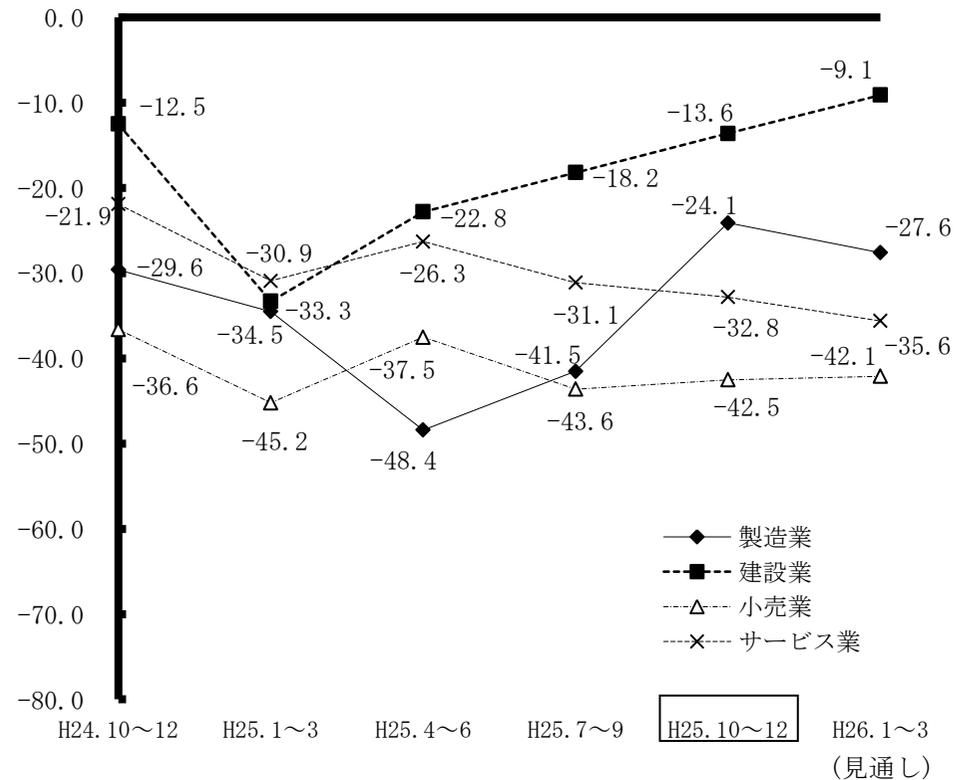
今期の製造業では、利益率が大幅に改善

今期は、製造業で、17.4ポイント上昇の△24.1増加したほか、建設業でも、4.6ポイント上昇の△13.6と3期連続で改善しました。

一方、サービス業においては、1.7ポイントマイナスの△32.8まで低下しました。

来期は、建設業においては、引き続き、回復基調を見込んでおりますが、製造業では、3.5ポイント減少の△27.6と悪化する見通しです。

※採算は各業種とも経常利益



# 全産業の推移

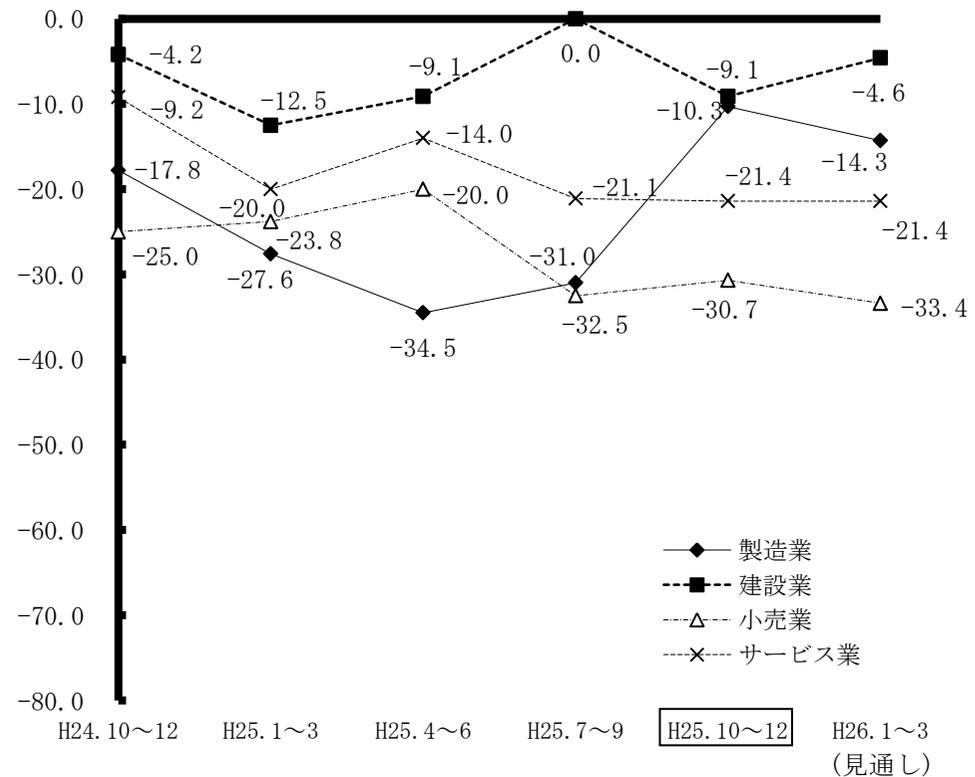
## 資金繰り

製造業の資金繰りは改善、建設業は減少

今期は、製造業において、20.7ポイント上昇の△10.3まで大幅に回復したほか、資金繰り悪化が懸念されていた小売業において、若干の回復が見られました。

しかし、建設業においては、9.1ポイント減少し、資金繰りが悪化しました。

来期は、建設業において、4.5ポイント上昇の△4.6まで回復することが見込まれますが、製造業においては、年末を控え、4ポイントマイナスの△14.3に低下する見通しとなっています。



# 製造業の推移

## 売上高

<今 期>

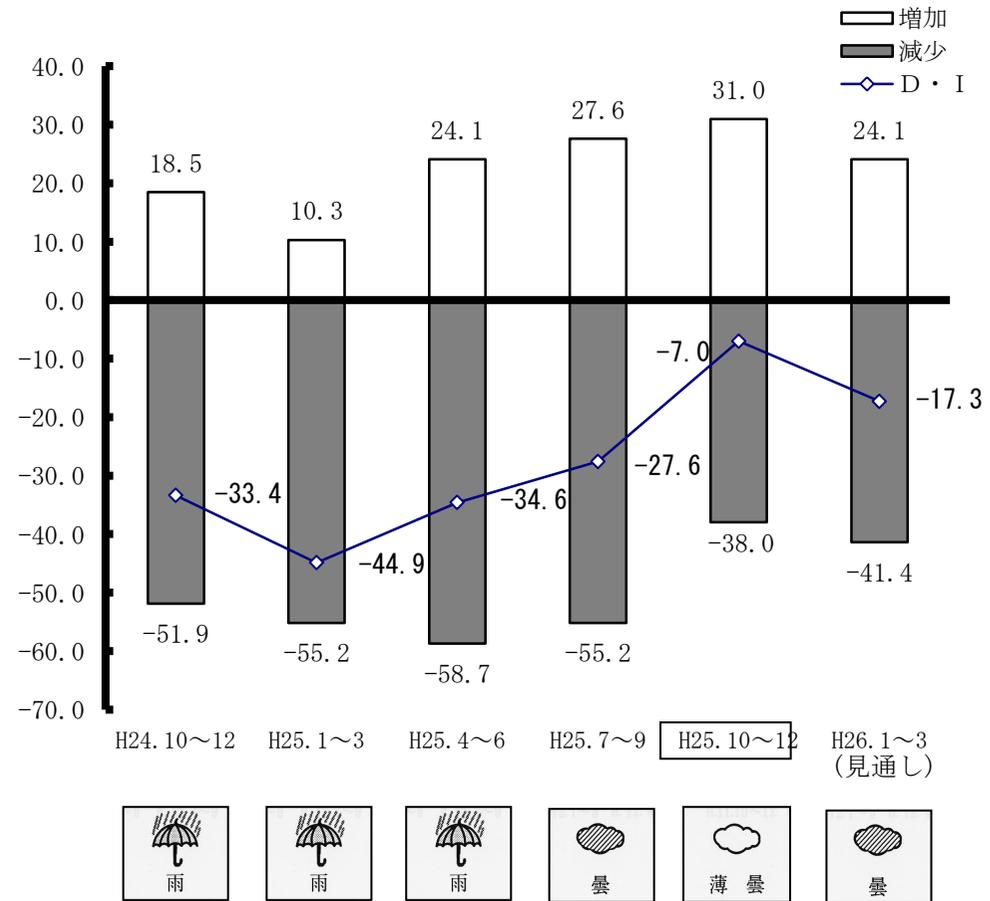


<来期見通し>



今期は、売上高の増加企業割合が増加したほか、減少企業割合も減少したことより、売上高D・Iは20.6ポイント上昇の△7.0となり、3期連続で改善しました。

来期は、売上高の増加を予想する企業が減少するほか、売上の減少を予想する企業が増加したことから、売上高D・Iは10.3ポイント減少の△17.3まで低下する見通しです。



# 製造業の推移

## 採算

<今 期>

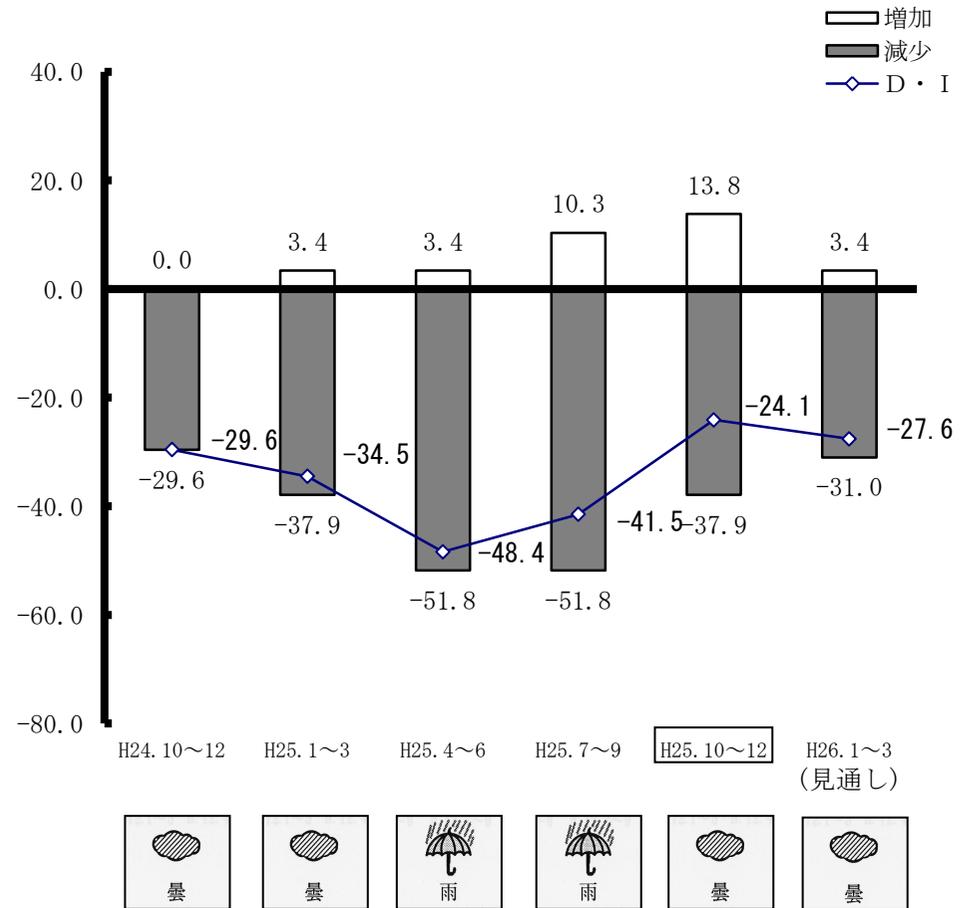


<来期見通し>



今期は、採算の改善を挙げる企業の割合が増加し、さらに採算の悪化を挙げた企業の割合も減少したことから、採算D・Iは17.5ポイント増加の△24.1と改善しました。

来期の採算D・Iは、採算の悪化を予想する企業は減少したものの、採算が改善すると挙げた企業も減少したことから、3.5ポイント減少の△27.6と悪化する見通しです。



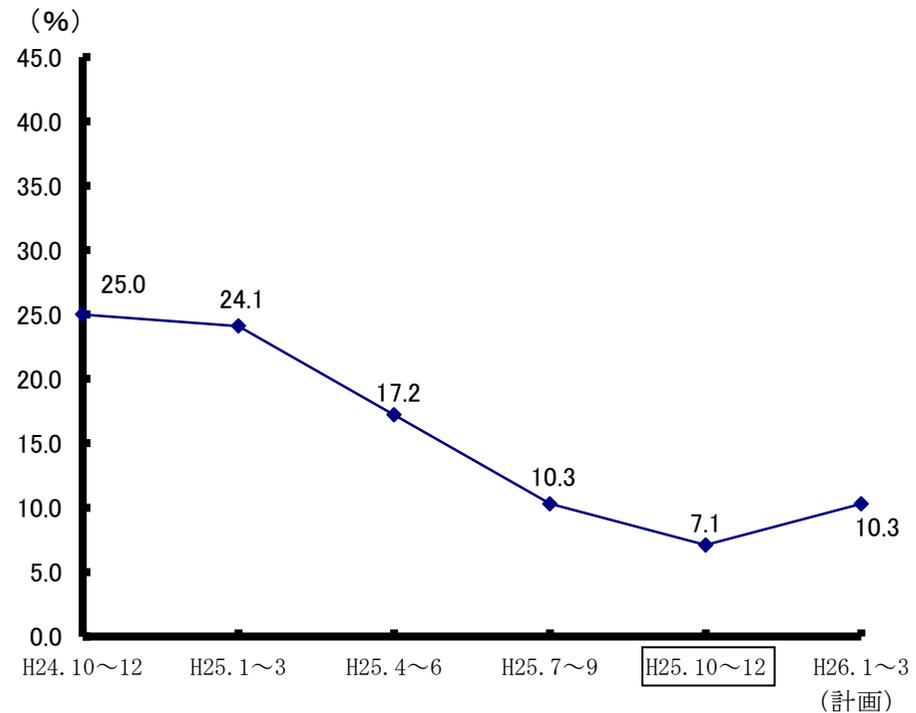
## 設備投資

今期は、設備投資を行う企業は引き続き3.2ポイント減少の7.1となり、低下傾向に歯止めがかかりませんでした。

これは、原材料等の高止まりに伴う機械等の高騰が原因と考えられます。

来期は、業績の改善から設備投資を計画している企業の割合は増加するものと予想されます。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



## 経営上の問題点

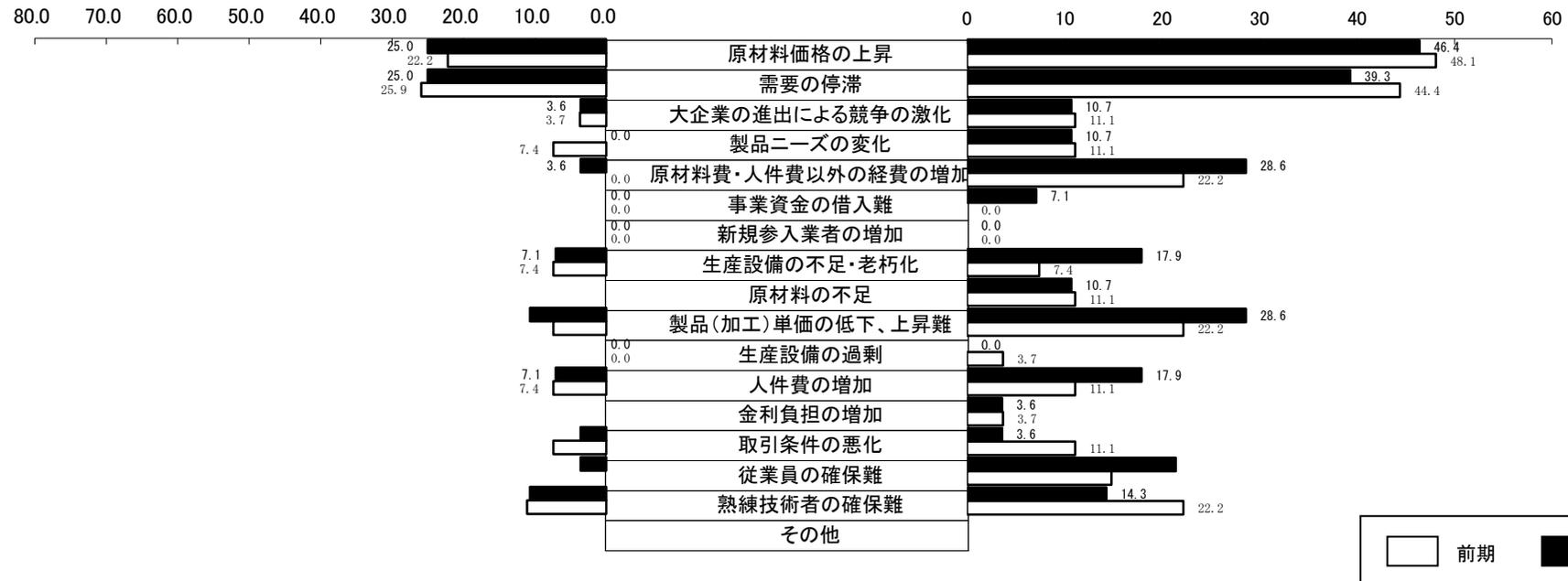
岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛:%)



# 建設業の推移

## 売上高

<今 期>

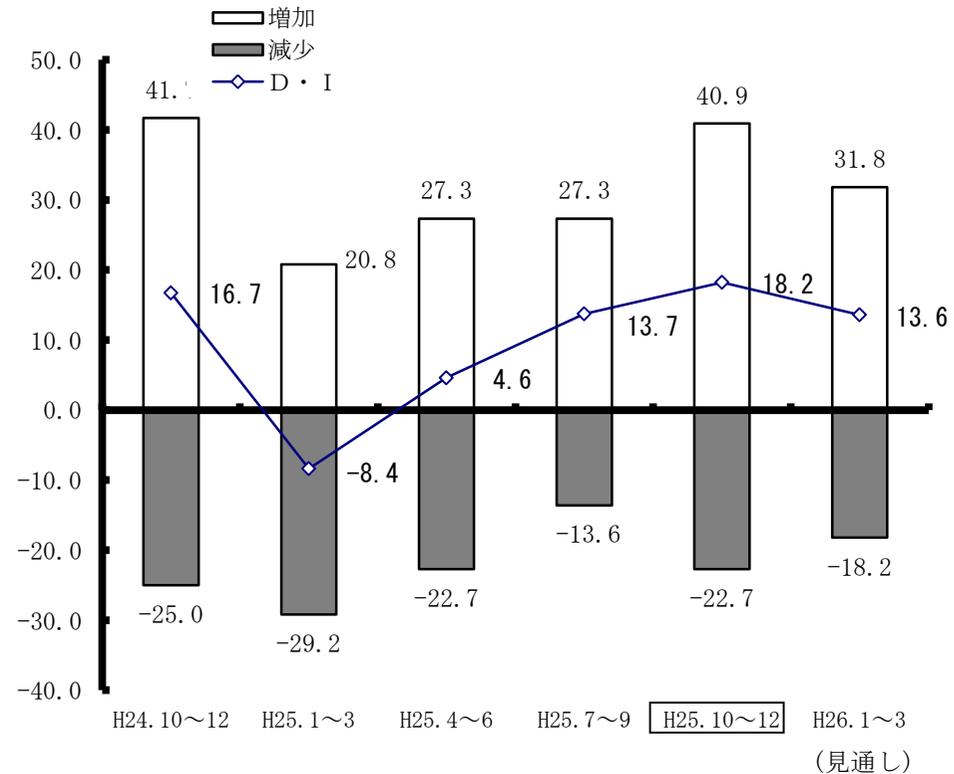


<来期見通し>



今期は、売上高の減少を挙げた企業の割合は増加したものの、売上の増加を挙げた企業の割合が増えたことから、売上高 D・I は 4.5 ポイントプラスの 18.2 まで上昇しました。

来期は、売上高の増加を予想する企業の割合も、売上高の減少を予想する企業の割合も減少することから、売上高 D・I は、13.6 まで減少する見通しです。



※建設業の売上高は完成工事高

# 建設業の推移

## 採算

<今 期>

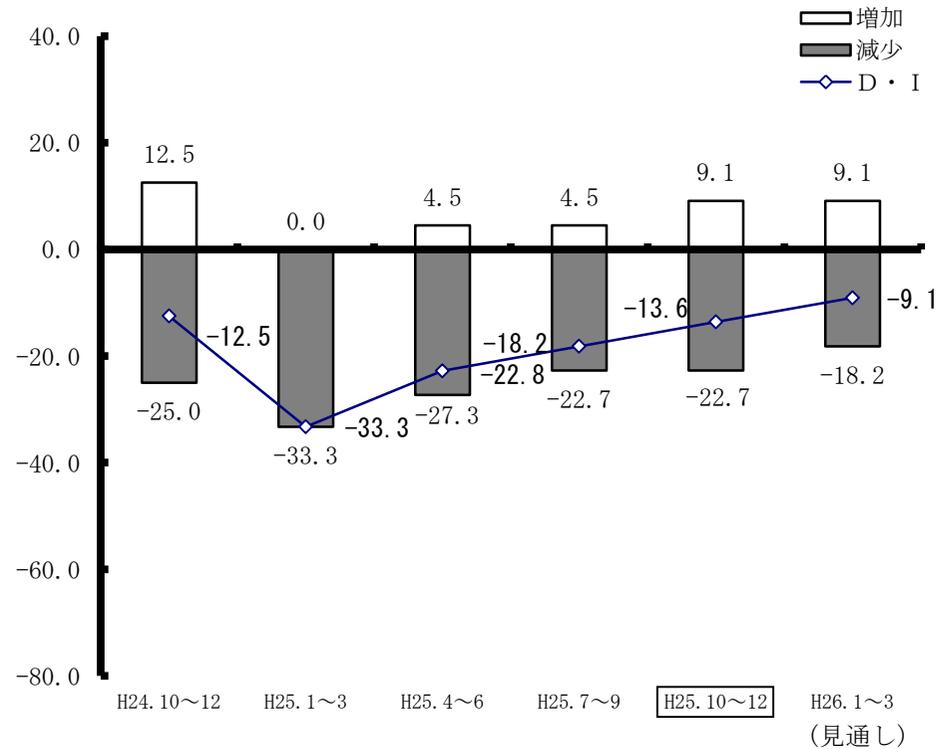


<来期見通し>



今期の採算D・Iは、採算好転を挙げた企業が増加したことから、4.6ポイント上昇の△13.6となりました。

来期は、採算の好転を予想する企業は変わらないものの、悪化を予想する企業が減少し、採算D・Iは、△9.1まで回復し、予想天気図は薄曇となる見通しです。



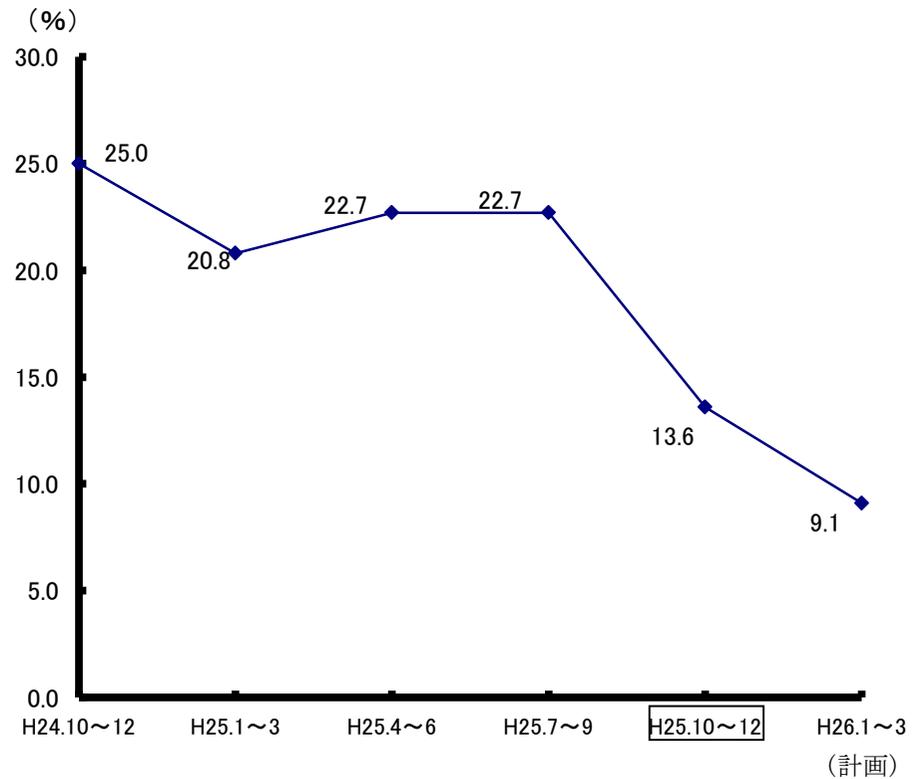
# 建設業の推移

## 設備投資

前期見通しのとおり、設備投資を実施する企業は13.6%まで減少しました。これは、原材料の上昇に伴う機械等の高騰に起因するものと思われま

す。来期は、設備投資を予定する企業はさらに減少し、9.1%まで低下する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

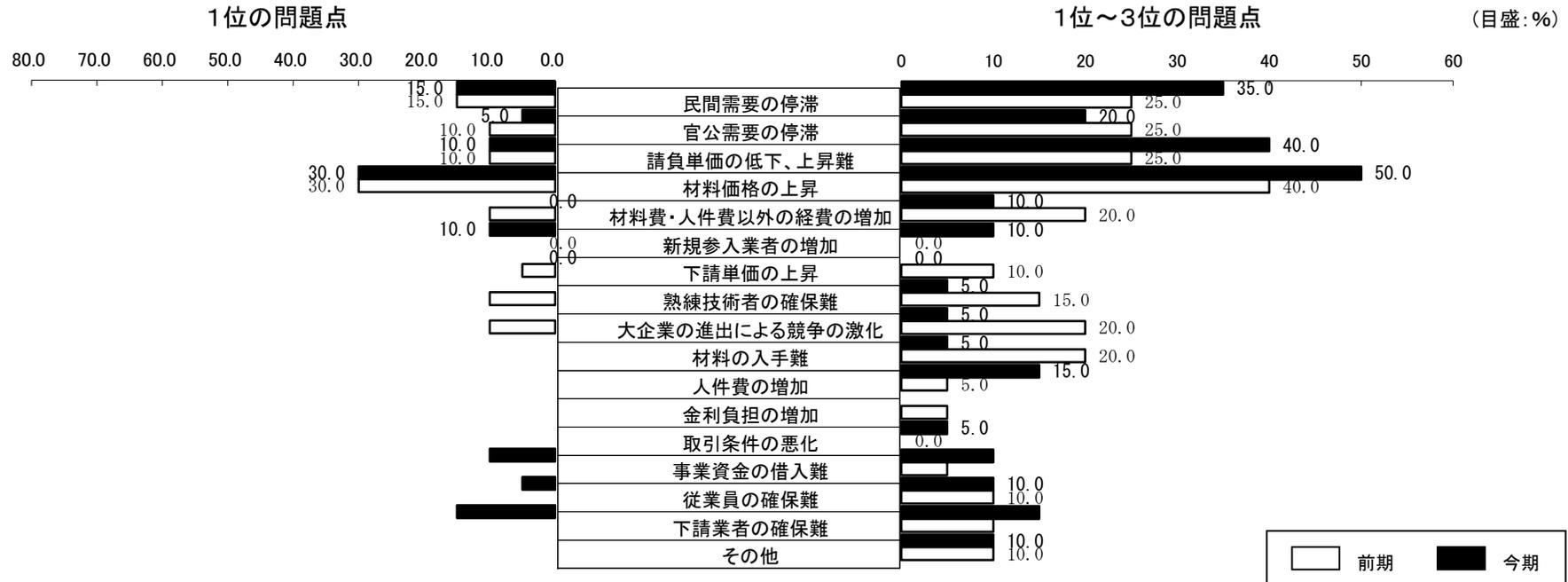


# 建設業の推移

## 経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



# 小売業の推移

## 売上高

<今 期>

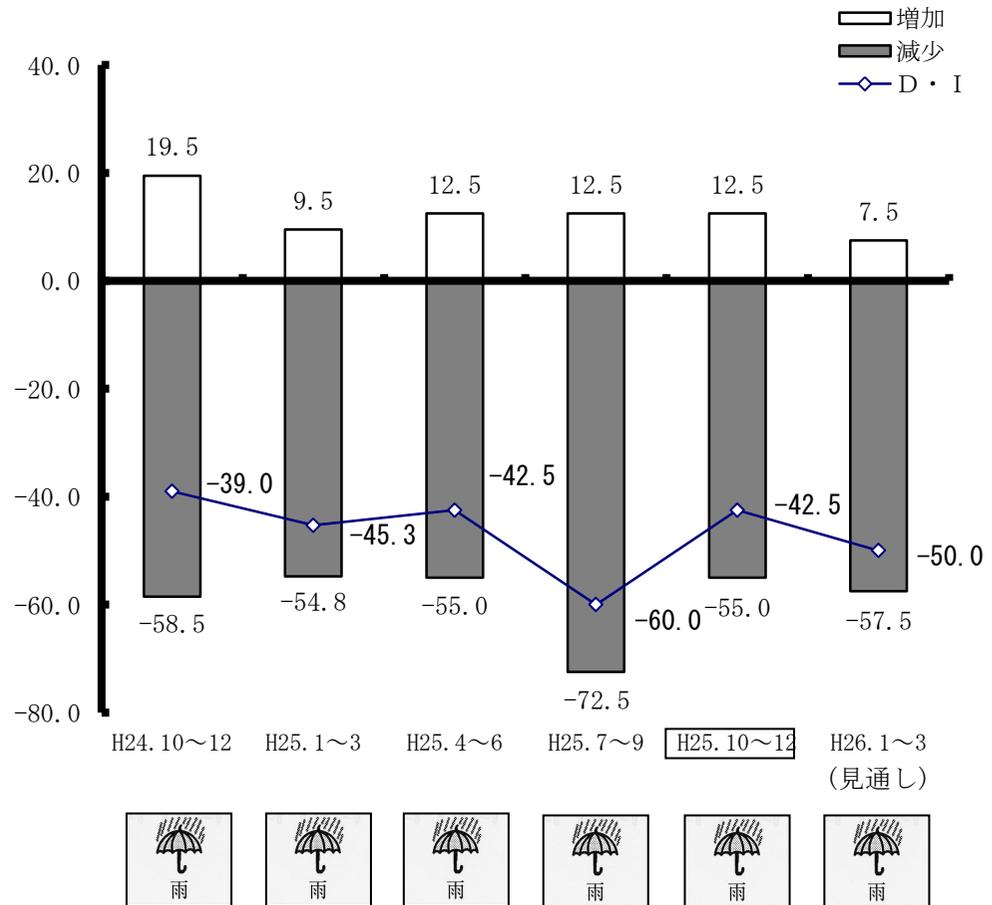


<来期見通し>



3期連続で売上高増加企業の割合は変わらないものの、売上高減少企業が、17.5ポイント回復したことから、売上高D・Iは、△42.5まで改善しました。

来期は、売上高増加を予想する企業も減少するほか、売上高減少を予想する企業も増えるため、売上高D・Iは、7.5ポイント減少の△50.0と再び低下する見通しです。



# 小売業の推移

## 採算

<今 期>

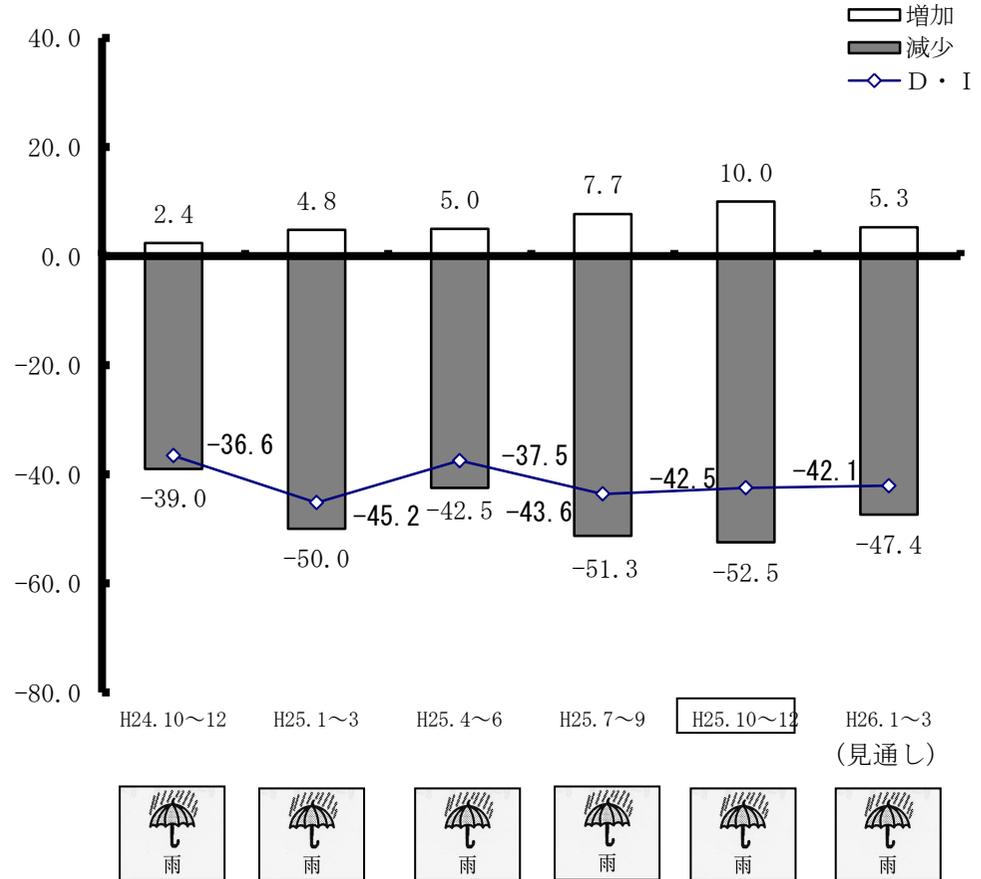


<来期見通し>



前期見通しでは、回復が期待されると予想されていましたが、1.1ポイント増加の△42.5と微増で推移する結果となりました。これは、売上が回復したにもかかわらず、利益につながらなかったものと考えられます。

来期は、採算の改善を予想する企業の割合が減少するものの、採算の悪化を予想する企業の割合も減少するため、若干の回復が期待されます。



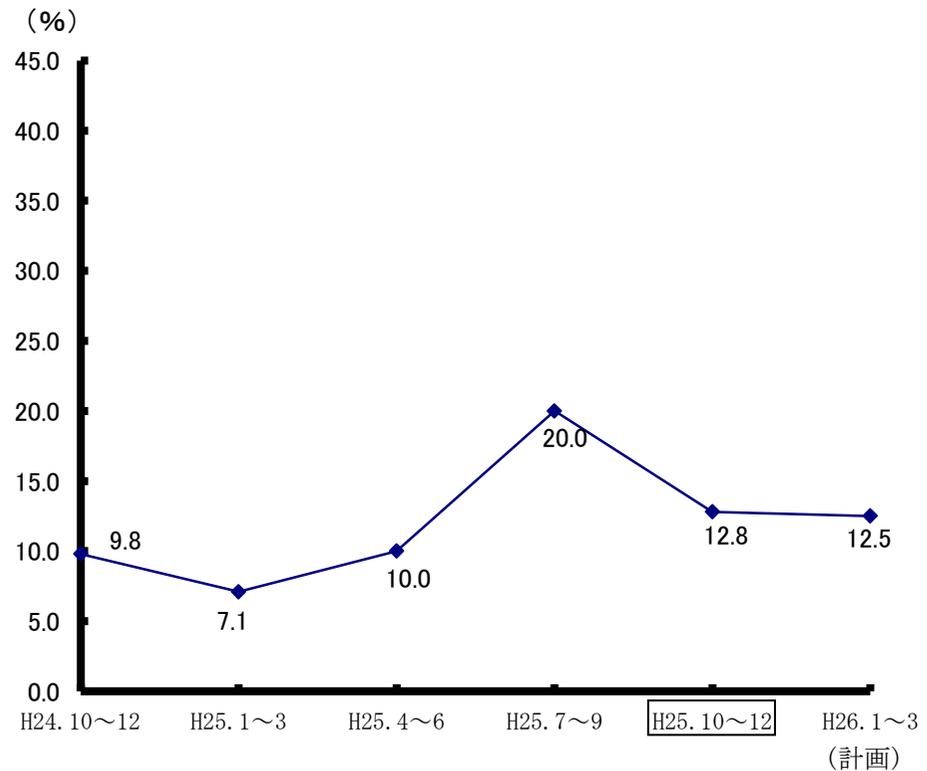
## 設 備 投 資

今期、設備投資を実施した企業は、7.2ポイント減少の12.8%まで大幅に減少しました。

これは、購買力の他地域への流出や消費者ニーズへの対応の遅れ等により投資マインドが抑えられたものと考えられます。

来期も今期同様にやや低調な設備投資を見込んでいます。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

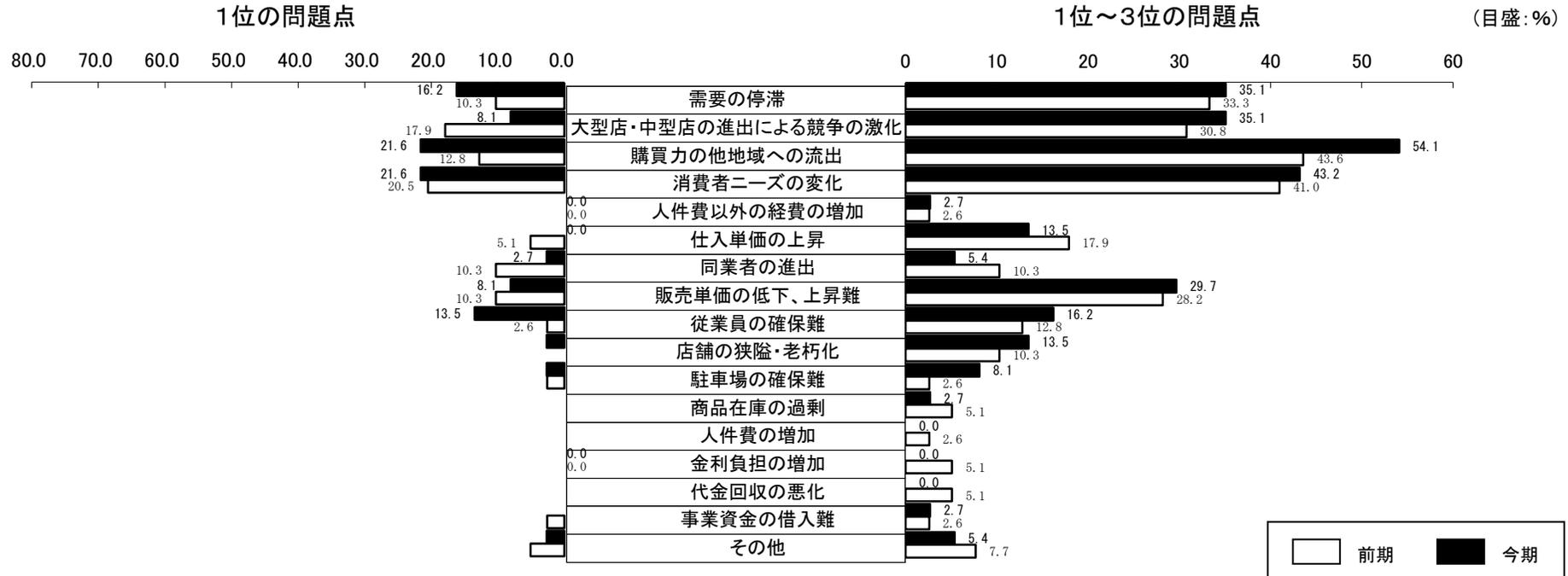


# 小売業の推移

## 経営上の問題点

岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



# サービス業の推移

## 売上高

<今 期>

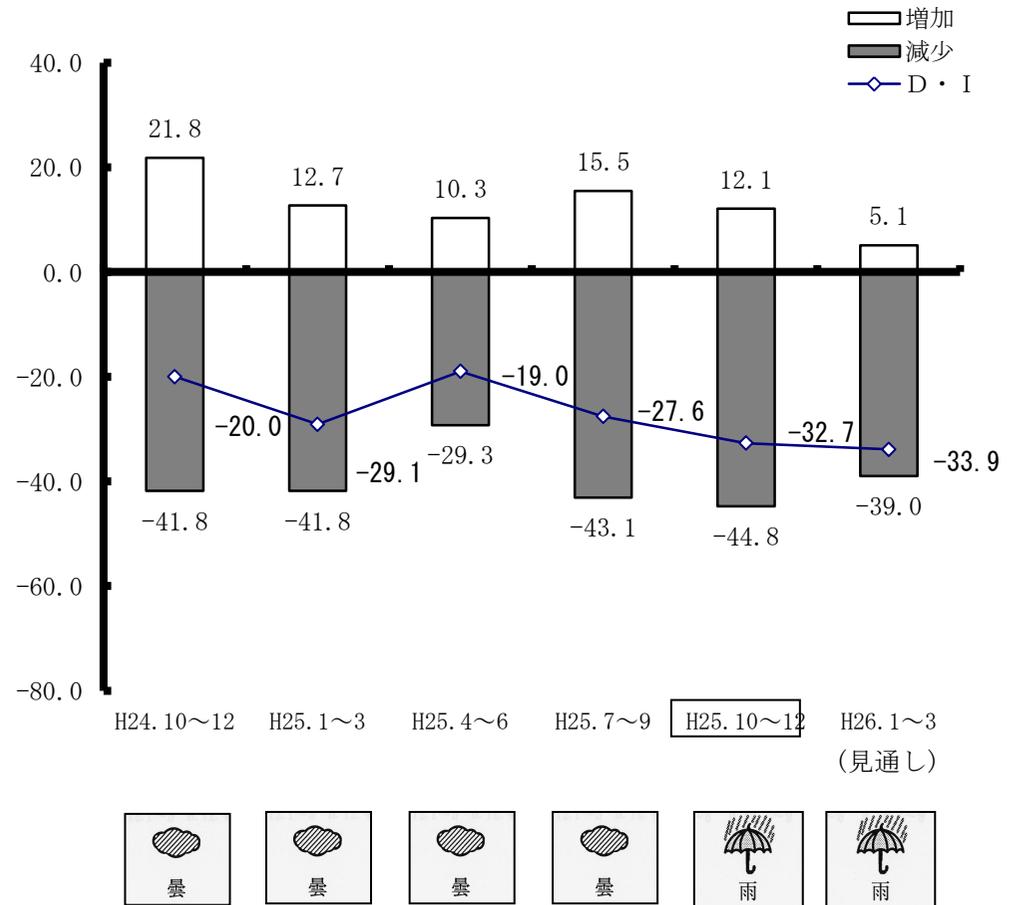


<来期見通し>



今期は、売上高増加企業が前期より減少したほか、売上高減少企業も増加したため、売上高D・Iは、△32.7と低下しました。

来期は、売上高減少を予想する企業が減少するものの、売上高増加企業も減少することから、売上高D・Iの悪化を見込んでおり、依然減少傾向に歯止めがかからない見通しです。



# サービス業の推移

## 採算

<今 期>

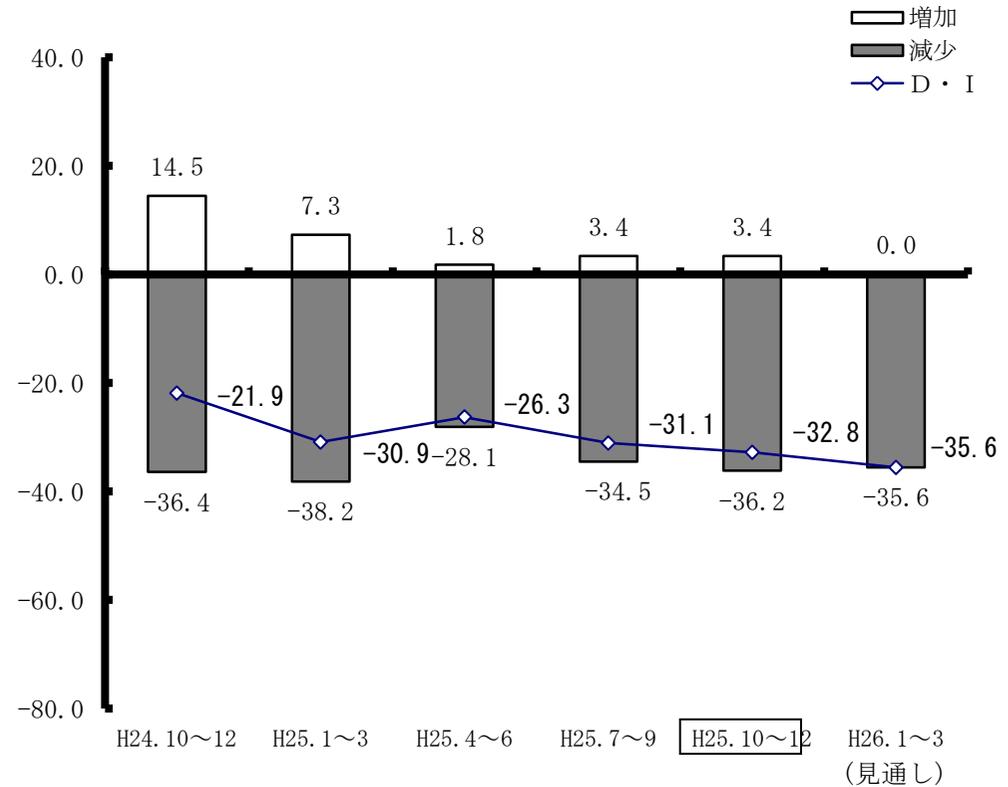


<来期見通し>



今期は、採算増加企業数は変わらないものの、採算悪化を挙げた企業が増加したことから、1.7ポイント減少の△32.8となり、採算D・Iは悪化しました。

来期は、採算の好転を予想する企業が減少することが見込まれますので、引き続き、D・I値の悪化傾向が続く見通しです。



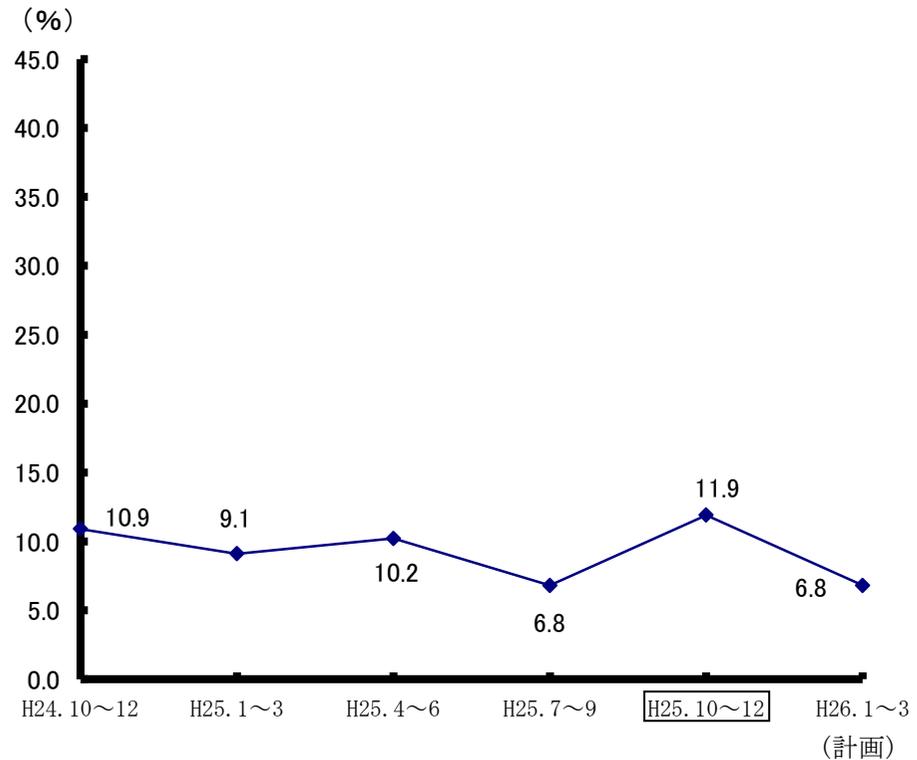
## 設備投資

今期は、設備投資を実施した企業は5.1ポイント増加の11.9%となりました。

これは、売上・採算の悪化が懸念されるものの、利用者ニーズへの対応のため、積極的な投資が行われたものと思われます。

来期は、今期の反動が影響して、再び6.8%の水準まで減少する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



# サービス業の推移

## 経営上の問題点

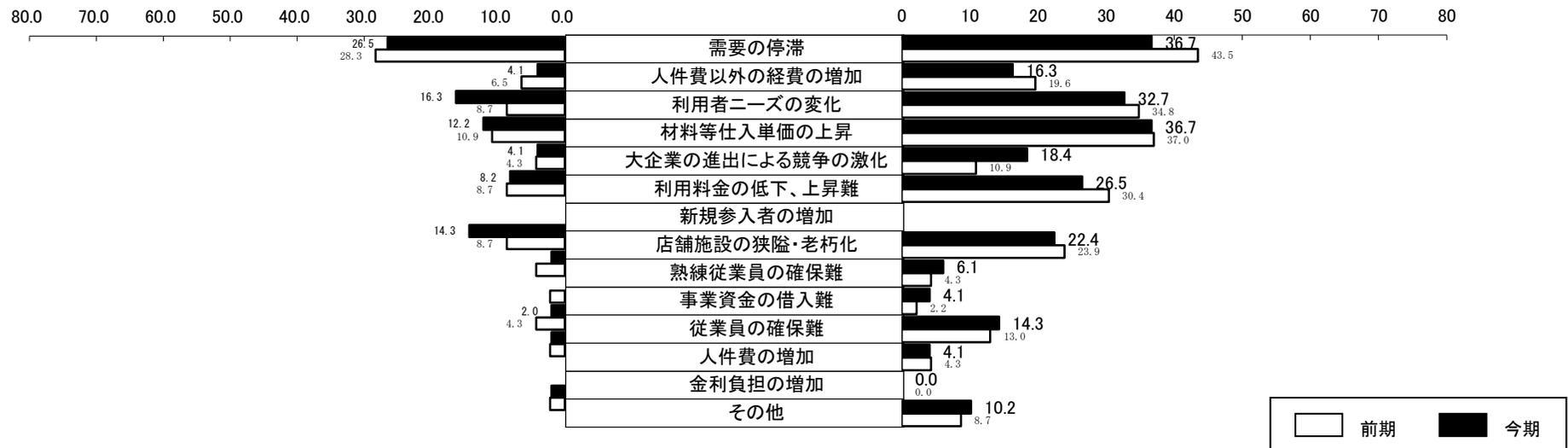
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

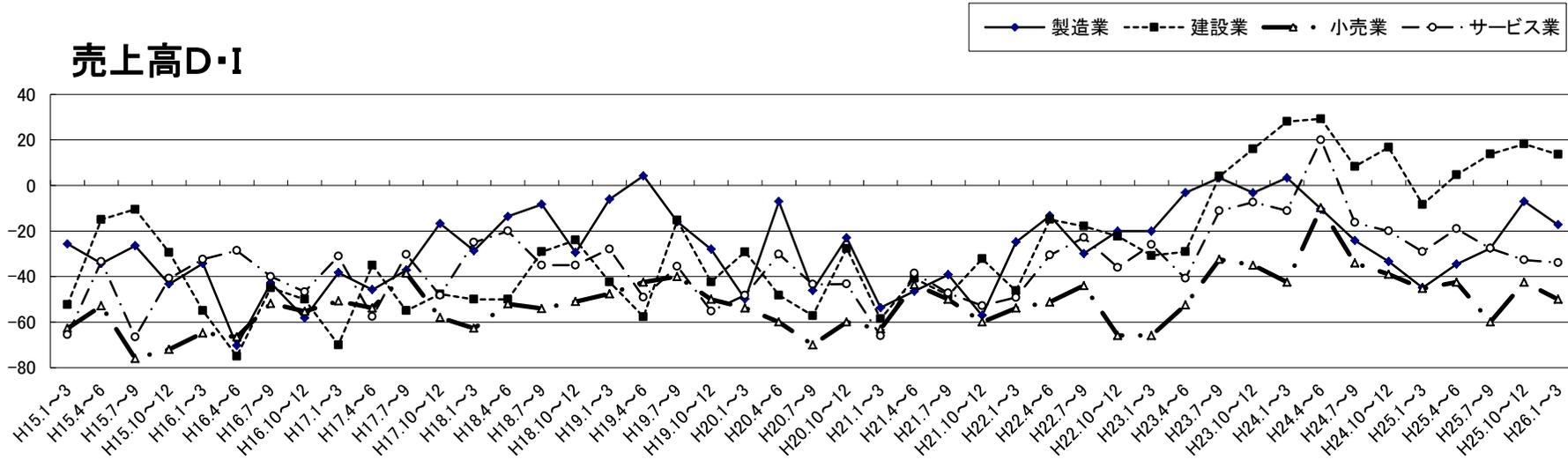
1位~3位の問題点

(目盛:%)

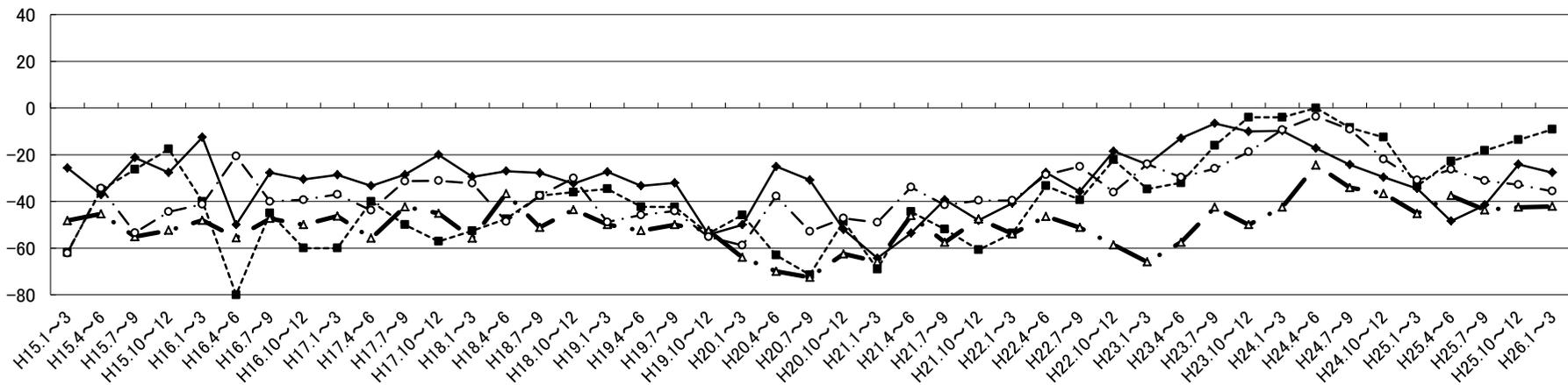


# 全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

## 売上高D・I



## 採算D・I



# 集 計 資 料

# 調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、陸前高田、二戸市、葛巻町、紫波町  
(商工会名) 西和賀、金ヶ崎町、岩泉、普代、洋野町
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 150 企業
2. 調 査 対 象 期 間 平成25年10月～12月を対象とし、調査時点は平成25年11月15日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。  
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

## 4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 ( % )
製造業 (地域産業)		29 ( 19.3 )	29 ( 19.3 )	100.0
建設業		22 ( 14.7 )	22 ( 14.7 )	100.0
小売業		40 ( 26.7 )	40 ( 26.7 )	100.0
サービス業		59 ( 39.3 )	59 ( 39.3 )	100.0
		150 ( 100.0 )	150 ( 100.0 )	100.0

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。